

① 学習指導案

プログラム	No.05 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全60時間)	「たまプラ」カルタを作って 園児のみなさんや下級生(1組) 高齢者の方々(3組) に地域の魅力を発信しよう ※1・3組の単元名が異なります。詳しくは別紙資料をご覧ください。 ※2組は、発信方法が紙芝居やリーフレットとなったため、報告には入れません。
学習のねらい	幼稚園生や下級生(1組)、高齢者の方々(3組)に「たまプラ」のよさを知ってもらいカルタ作りを通して、地域の方々の願いや努力、そのような人々が協力してまちを形成していることを理解し、まちに愛着をもつとともに、自分の住む地域の他者に豊かにかかわろうとすることができるようにする。
学習内容	1 どんな総合にするか考えよう 2 カルタに入れる「たまプラ」の情報を集めよう 3 「たまプラ」の情報を整理し、カルタの試作品を作って改良しよう 4 カルタで幼稚園生や下級生(1組)、高齢者の方々(3組)と一緒に遊んで、「たまプラ」のよさを感じてもらおう 5 協力してくださった方に感想や感謝の気持ち届けよう
参考資料 準備品 実施場所等	学校周辺・たまプラーザ駅周辺

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
	※ 別紙添付資料 校内重点研究 指導案 P2 を参照		

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立美しが丘小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
	※ 別紙添付資料 校内重点研究 指導案 P2 を参照			

美しが丘小学校
4年生
総合的な学習

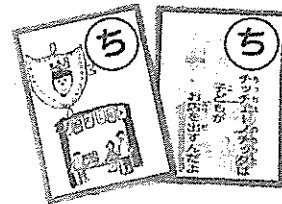
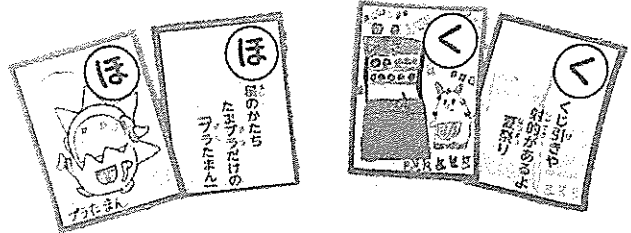
紙芝居やかるたで 街の魅力を伝える

たまプラーザ

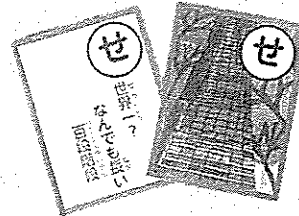
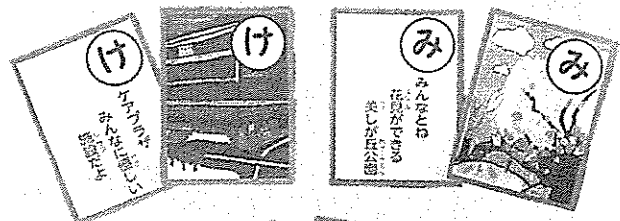


私たち横浜市立美しが丘小学校4年生は、総合的な学習の時間で、たまプラーザの街のことを調べています。たまプラーザの歴史を調べてクイズや紙芝居などにして紹介したり、たまプラーザの魅力を園児や高齢者の方々に向けてかるたを作ったりしています。

4年1組では、たくさんのお園児のみなさんに、このかるたで遊んでもらえるよう、3月2日、美しが丘公園のグラウンドで行われる「チッチェーノ・チッタ」に参加することにしました。「チッチェーノ・チッタ」とは、子どもが街をつくって仕事や体験ができるイベントです。そこで私たちは、チッチェーノ幼稚園を開いて、園児のみなさんに作ったかるたで楽しんで



△園児用 たまプラーザかるた



△高齢者の方用 たまプラーザかるた

らいたいと考えました。他にも「チッチェーノ・チッタ」では、バルーンアートやゲームなどを楽しむことができます。また、本物の出店者さんのもとで警察やネイルサロンなどの仕事体験をしたりすることもできます。ぜひ来てください。

(美しが丘小学校4年生)

発信！たまプラ街 Karuta (たまプラまちカルタを作って高齢者と交流しよう)

横浜市立美しが丘小学校

4年3組 板東 文彦

1 単元について

活動に向かう子どもの思いや願い

3年生の総合では、生き物や植物などの「材」と関わってきた。「材」を決める時に、「もの」との関りの良さに加え、「人」や「まち」との関りの良さについても考えた。

昨年度の上級生の取組から「自分たちも、自分たちにしかできないことをやってまちへ発信したい」という思いをもった。どんな人と関わっていききたいかという視点での話し合いでは、校内の下級生、地域の園児・高齢者の方々に関わりやすいのではないかということになった。自分たちの力で、自分たちにしかできないこととは何かを考えた結果、まちについて調べ、高齢者の方々にとって役立ち、「『たまプラ』っていいな」と思ってもらえる「かるた」を作って一緒に遊ぶ活動に決めた。

まちの方と関わり、まちのよさを見つける活動を通して、まちに愛着をもつとともに、自分の住む地域の他者に豊かにかかわろうとすることができるようになっていきたい。

期待する力と材について

「たまプラ」のよさを伝えるかるたを作るためには、まちのことを調べる必要がある。公園や建物・施設といった物理的に目に見えるものもあるが、人と人とのつながりや行事など、目に見えないものは意識しないとそのよさに気づくことはできない。物理的な事象だけでなく、人とのつながりから感じたことを、かるたに入れていくことで、さらにまちに愛着をもつことができるようにしたい。

また、まちの魅力が詰まったかるたを地域へ発信することを通して、高齢者や幼稚園児と触れ合う機会を設ける。直接触れ合うことで、直に相手から感想などの反応が返ってくる。自分たちの活動によって、相手に楽しんでもらえる喜びを知り、成功体験から自信へと繋げていきたい。

そして、地域との関わりの中で、自分でできることを見つけ、実践していくことができるようにしたい。

単元目標

高齢者に「たまプラ」のよさを知ってもらうかるた作りを通して、地域の方々の願いや努力、そのような人々が協力してまちを形成していることを理解し、まちに愛着をもつとともに、自分の住む地域の他者に豊かにかかわろうとすることができるようになる。

学習内容

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域社会に関わる諸課題の解決に向けて活動する人々の願いや思い、取組	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や商店街、地域の方々が、よりよいまちづくりをするために互いに協力し合っていることを理解している。 (概念的な知識の獲得) まちのよさを発見する調査目的や対象に応じて、適切に実施することができる。 (自在に活用することが可能な技能の獲得) 地域の取組と自分たちの生活が繋がっていることの理解は、地域の実態や魅力を効果的に表現することを探究的に学んできた成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解) 	<ul style="list-style-type: none"> まちのよさを知ってもらうかるた・すごろく作りを通して課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 (課題の設定) かるたやすごろくでまちのよさを効果的に伝えるために、取材をしたり、実際に体験したりするなど情報を集め、適切に蓄積することができる。 (情報の収集) 多様な情報を、視点を設定して情報を整理し考える。 (整理・分析) 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。 (まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとする。 (自己理解・他者理解) 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性) 地域との関わりの中で、自分でできることを見つけようとしている。 (将来展望・社会参画)

2 単元構想

「たまプラ」かるた・すごろくを作ってまちの人（高齢者の方々）に地域の魅力を発信しよう。（全60時間 総合53 国語5 社会2）

↓研究主題に
迫るための手立て

1 どんな総合にするか考えよう（総合5時間）5月～

- これまでの学びを振り返り、まちの関わる人について話し合う。
- 高齢者の方々と、関わり方、自分たちにしかできないことを考える。
- 「たまプラ」かるた・すごろくを作って高齢者と一緒に遊ぶ活動に決定する。
- いつごろ、どんな活動をするよいか、大まかな年間計画を立てる。

まちや学習に対する思いがどのように変容するか年度末に分かるよう、年度初めの思いを記録し、年度末に比べることができるようにする。

【まちがすき】

上級生がまちのマップ作りをして発信してきた。自分たちもやってみたい。下級生や高齢者の方々となら関わりやすいな。調べたことをもとに「たまプラ」かるたを作って、一緒に遊んだらどうか。秋には、下級生に遊んでもらおう。改良して、冬の遊びだから12月には完成させて高齢者の方々と交流したいな。

2 かるたに書く「たまプラ」の情報を集め、お試しかるたを作ろう

（総合15時間 国語3時間・社会2時間）6月中旬～

- どんな内容なら、自分たちにしかできないかるたになるか考える。
- まち探検をし、「かるたの素材」にどのようなものがあるか調べ、お試しかるたを作る。
- ★（本時）試しに作ったかるたを紹介し合い、もっと詳しく調べる視点を明確にする。
- 地域をよく知る方々と一緒に再度、まち探検をし、さらに情報を集める。
- 自分たちにしかできないかるたの情報を整理する。

「できた」という思いをもち、次の学習への意欲が高まるよう、国語「聞き取りメモのくふう」などで身に着けた知識を、インタビューなどの実生活で活用できるようにする。

【自分がすき】

自分たちも知らない驚く内容や役立つ情報がつまったかるたを作りたいな。インターネットにない内容がいい。まちの人や自治会の人、まちの高齢者、家族に聞いてみよう。

3 お試しカルタ（試作品）で高齢者の方々と交流し、改善アドバイスをもらい、カルタを改良しよう。（総合15時間）9月～12月

- 高齢者（地域ケアプラザ）へ交流依頼の手紙を書く。電話をする。
- 高齢者との交流後、情報を整理し、分担して、試作品カルタを改良する。

かるたの試作品を改良しよう。ケアプラザの方々からかるたはリズム感のある短い文がいいと言われた。高齢者の方々にわかりやすいイラストや喜んでもらえる題材にしよう。

自己肯定感や仲間と活動する楽しさを感じることができるよう、調べた内容を整理したり、分担して作ったりすることで、自他のよさに気づくことができるようにする。

【自分・友達がすき】

4 かるたで高齢者と一緒に遊んで

「たまプラ」のよさを感じてもらおう（総合8時間 国語2時間）1月～2月

- 地域ケアプラザへ、自分たちの活動や目的を伝え、再度交流する依頼をしよう。
- 「電話・手紙」どのような方法が伝えられるか考え、依頼の準備し、依頼する。
- ケアプラザの高齢者からのアドバイスで作ったかるたで遊んで、「たまプラ」のよさを知ってもらう。

一緒に遊びたいって地域ケアプラザの高齢者にもう一度お願いしたい。依頼するとき、電話・手紙ではどのような違いがあるのだろう。私たちの思いが伝わる方法を考えよう。自分たちが作ったかるたで高齢の方と一緒に遊んだ時、「それ、知らなかったな！」って驚いてくれたよ。もっと、たくさんの人に遊んでもらいたいな。

社会科「健康なまちづくり、自然災害に備えるまちづくり」など、学習したことと自分たちが暮らすまちが身近につながっていることを実感できるように、身近な事象へ目が向けられるように視点を整理する。【まちがすき】

5 「たまプラ」カルタを多くの人に広めよう。（総合6時間）3月～

- より多くの方に使ってもらえる方法を考える。
- 全校児童に遊んでもらえるよう、配付の準備をする。4年の他のクラスとカルタ交流。
- 全校児童に向けた「カルタ宣伝用動画」を各自で分担し、作成する。

自分たちの作ったカルタを全校の人たちにも楽しんでもらいたい。校長先生に来年度使ってもらえるようお願いしてみよう。全校の人たちに宣伝するために分担して動画を作ろう。

自分たちの活動が役立ったと実感し、成功体験から自信へとつなげることができるよう、下級生や園児・高齢者の方々と関わる機会を設け、感想や反応などを直接子どもたちが実感できる機会をつくる。

【自分・友達・
学校・まちがすき】

6 協力してくださった方に感想や感謝の気持ち届けよう（総合4時間）3月

- この活動を通して感じたことや、協力してくださった方々へ感謝の気持ちを伝える。
- まちの一員として、これからできそうなことを考え、実践しようとする意欲をもつ。

たくさんの方が喜んでくれた。高齢者の方々と交流するのは緊張したけれど、自分たちができることをして、誰かに楽しんでもらえると、自分たちも嬉しい。これからも、まちに関わり、いろんなことにチャレンジしたいな。ケアプラザの方々に手紙を書いて感謝の気持ちを伝えよう。

3 本時について

(1) 本時目標

まち探検で調べた内容で作る「たまぷらかるた」を紹介し合うことを通して、様々な視点があることやまちの魅力を伝える点で足りない視点があることに気づき、今後調べる視点について考えることができる。

(2) 本時の展開

主な学習活動 ・ 予想される子どもの反応	・ 教師の手立て ★評価規準				
<p>1. 本時の課題を確認し、解決の見通しを立てる。</p>	<p>・ 子どもたちが作成したかるたをデータ化し、テレビ画面やタブレット上で共有できるようにする。</p>				
<p>試作かるたを紹介し合い、作品を「たまぷら街 Karuta」に入れるための改良点を話し合おう。</p>					
<p>2. おためして作ったかるたを全体で伝え合う。</p> <table border="1" data-bbox="162 645 1046 1093"> <tr> <td data-bbox="162 645 603 869"> <p>○景色・季節</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100段階からの季節ごとの景色 ・太鼓橋からの景観 </td> <td data-bbox="603 645 1046 869"> <p>○商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物屋さんが多い商店街 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 878 603 1093"> <p>○道路・建物・駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から連なるショッピングモール ・ユリノキ通りの長い直線 ・並木がある道路 ・たいこ橋 ・歴史ある団地 </td> <td data-bbox="603 878 1046 1093"> <p>○公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しが丘公園の遊具 ・ロケットハウス ・美しが丘公園の施設 </td> </tr> </table>	<p>○景色・季節</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100段階からの季節ごとの景色 ・太鼓橋からの景観 	<p>○商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物屋さんが多い商店街 	<p>○道路・建物・駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から連なるショッピングモール ・ユリノキ通りの長い直線 ・並木がある道路 ・たいこ橋 ・歴史ある団地 	<p>○公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しが丘公園の遊具 ・ロケットハウス ・美しが丘公園の施設 	<p>・ 紹介を伝え合う際に</p> <p>① <u>友だちの作品のよさ</u> (イラストの工夫・語調・真似してみたい構図など)</p> <p>② <u>改良するとよくなる部分</u></p> <p><u>話し合ってきた街 Karuta の条件</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文言のリズム (七・五調) ・ 自分たちだけの子どもらしい視点 (ネットに出ない情報) <p>※【今までの条件にさらに付け足す部分を考えていくよう示唆する。】</p> <p><u>の視点をもちながら聞けるよう視点を説明・提示する。</u></p> <p>・ 学習カードで子どもたち一人ひとりが活動を通して気付いたこと・考えたことを把握しておき、必要に応じて意図的な指名につなげる。</p>
<p>○景色・季節</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100段階からの季節ごとの景色 ・太鼓橋からの景観 	<p>○商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物屋さんが多い商店街 				
<p>○道路・建物・駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から連なるショッピングモール ・ユリノキ通りの長い直線 ・並木がある道路 ・たいこ橋 ・歴史ある団地 	<p>○公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しが丘公園の遊具 ・ロケットハウス ・美しが丘公園の施設 				
<p>3. 友だちのかるたの紹介を聞いて、よかったと思うところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちのかるたの紹介を聞いていて、楽しい気持ちになった。 ・ 自分が感じないことを見ているんだなと思った。 ・ 詳しく知っているなど感心した。 <p>・たまぷらのまちには魅力があるなど感じた。</p>	<p>・ ①の観点について発表し合うことにより、街には様々な魅力があることを確認できるようにする。</p>				
<p>4. 友だちのかるたの紹介を聞いて、今後かるたを作っていくにあたって改良した方がよいと思ったところをグループで話し合い、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物や景色に関する文が多かった。 ・ 人が頑張っている様子が少なかったので付け足した方がよい。 ・ 歴史的な分野のものが少ないので付け足したい。 ・ もっといろいろなカルタの題材があった方がよい。 ・ 今回はお試したが、きちんと「50音」で作るために題材がゆぶらないようにしたい。 	<p>・ 作品一つひとつの批評ではなく、クラス全体の活動として付け足したり、改良したりする視点で考えるよう示唆する。</p> <p><u>カルタの題材(分野の例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然(名勝・季節の景色など) ・ 歴史(人) ・ 歴史(もの) ・ 産業(仕事・名産品など) ・ 交通 ・ 文化(食べ物) ・ 文化2(祭り・伝統・イベント) ・ 公共(建物・願い・シンボル) 				
<p>5. 今後の活動について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人が頑張っている様子は誰に聞いたらいいか? ・ 自治会の人に聞いてみよう。 ・ ケアプラザの高齢者の方々は昔のことも知っているかも? ・ ケアプラザを訪問するの願いをして、意見を聞いてみよう。 ・ 謎解きを企画した大学生に聞きたいな。 	<p>【支援】自治会の方や「100 段階プロジェクト」の方、謎解きを企画している大学生の団体に意識が向くよう、学級で話題にしておく。</p> <p>★まちの魅力を伝えるために題材の視点を広げなければならないことに気づき、今後調べる視点について考えることができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力)</p> <p>【発言・記録】</p>				

「たまプラ」かるたを作って 園児のみんなや下級生に地域の魅力を発信しよう

横浜市立美しが丘小学校
4年1組 平 望美

1 単元について

活動に向かう子どもの思いや願い

3年生の総合では、生き物や植物などの「材」と関わってきた。「材」を決める時に、「もの」との関りの良さに加え、「人」や「まち」との関りの良さについても考えた。

これまでの上級生の取組から「自分たちも、自分たちにしかできないことをやってみよう」という思いがあった。どんな人と関わっていききたいかという視点での話合いでは、校内の下級生、地域の園児が関わりやすいのではないかとということになった。自分たちの力で、自分たちにしかできないこととは何かを考えた結果、まちについて調べ、幼児にとって役立つ、また「たまプラ」っていいなと思ってもらえる「かるた」を作って一緒に遊ぶ活動に決めた。

まちの方と関わり、まちのよさを見つける活動を通して、まちに愛着をもつとともに、自分の住む地域の他者に豊かにかかわろうとすることができるようになっていきたい。

発揮を期待する力と材について

「たまプラ」のよさを伝えるかるたを作るためには、まちのことを調べる必要がある。公園や建物・施設といった物理的に目に見えるものもあるが、人と人とのつながりや行事など、目に見えないものは意識しないとそのよさに気づくことはできない。物理的な事象だけでなく、人とのつながりから感じたことを、かるたに入れていくことで、さらにまちに愛着をもつことができるようにしたい。

また、まちの魅力が詰まったかるたを通して、下級生・近隣の園児と触れ合う機会を設ける。直接触れ合うことで、直に相手から感想などの反応が返ってくる。自分たちの活動によって、相手に楽しんでもらえる喜びを知り、成功体験から自信へと繋げていきたい。そして、地域との関わりの中で、自分でできることを見つけ、実践していくことができるようにしたい。

単元目標

下級生や園児に「たまプラ」のよさを知ってもらうかるた作りを通して、地域の方々の願いや努力、そのような人々が協力してまちを形成していることを理解し、まちに愛着をもつとともに、自分の住む地域の他者に豊かにかかわろうとすることができるようになる。

学習内容

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域社会に関わる諸課題の解決に向けて活動する人々の願いや思い、取組	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や商店街、地域の方々が、よりよいまちづくりをするために互いに協力し合っていることを理解している。 (概念的な知識の獲得) まちのよさを発見する調査目的や対象に応じて、適切に実施することができる。 (自在に活用することが可能な技能の獲得) 地域の取組と自分たちの生活がつながっていることの理解は、地域の実態や魅力を効果的に表現することを探究的に学んできた成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解) 	<ul style="list-style-type: none"> まちのよさを知ってもらうかるた作りを通して課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 (課題の設定) かるたでまちのよさを効果的に伝えるために、取材をしたり、実際に体験したりするなど情報を集め、適切に蓄積することができる。 (情報の収集) 多様な情報を、視点を設定して情報を整理し考える。 (整理・分析) 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。 (まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとする。 (自己理解・他者理解) 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性) 地域との関わりの中で、自分でできることを見つけようとしている。 (将来展望・社会参画)

2 単元構想

(3月末に実施した内容に修正)

「たまプラ」かるたを作って 園児のみんなや下級生に地域の魅力を発信しよう
(全60時間 総合53 国語5 社会2)

↓研究主題に
迫るための手立て

1 どんな総合にするか考えよう (総合5時間) 4月～

- これまでの学びを振り返り、まちの関わる人について話し合う。
- 園児との関わり方、自分たちにしかできないことを考える。
- 「たまプラ」かるたを作って下級生・園児と一緒に遊ぶ活動に決定する。

上級生がまちの取組をしてきた。自分たちもやってみよう。下級生や幼稚園生となら関わりやすいな。調べたことをもとに「たまプラ」かるたを作って、一緒に遊んだらどうかな。

まちや学習に対する思いがどのように変容するか年度末に分かるよう、年度初めの思いを記録し、年度末に比べることができるようにする。

【まちがすき】

2 かるたに書く「たまプラ」の情報を集めよう

(総合10時間 国語3時間・社会2時間) 5月中旬～

- どんな内容なら、自分たちにしかできないかるたになるか考える。
- 役立つ・驚くようなまちの情報を集める視点について考える。(本時)
- 地域をよく知る方々と一緒にまちたんけんをし、情報を集める。
- 自分たちにしかできないかるたの情報を整理する。

自分たちも知らない驚く内容や役立つ情報がつまったかるたを作りたいな。インターネットにない内容がいい。まちの人や自治会の人、家族に聞いてみよう。

「できた」という思いをもち、次の学習への意欲が高まるよう、国語「聞き取りメモのくふう」などで身に着けた知識を、インタビューなどの実生活で活用できるようにする。

【自分がすき】

3 「たまプラ」の情報を整理し、かるたの試作品を作って 下級生に遊んでももらい改良しよう (総合20時間) 9月～

- 分担して、かるたの試作品を作る。
- 自分たちで遊んだり、下級生と遊んだりして、改良する点を見つけ、改良する。
(1月 印刷会社入稿)

かるたの試作品を作ろう。かるたはリズム感のある短い文がいい。小さい子も使うから簡単な言葉に直そう。園児のみんなが使うなら、カタカナにルビがある方がいいね。

社会科「健康なまちづくり、自然災害に備えるまちづくり」など、学習したことと自分たちが暮らすまちが身近につながっていることを実感できるように、身近な事象へ目が向けられるように視点を整理する。【まちがすき】

4 「たまプラ」かるたを多くの人に広めよう。(総合13時間) 12月～

※かるたの印刷完了まで1か月かかることが分かり、時期的に感染症等を考え、幼稚園と一緒に遊ぶことを断念。幼稚園・保育園には届けることにする。

- 幼稚園・保育園以外で、園児と一緒に交流して遊ぶことのできる場を考える。
- 地域のイベント「チツチェーノ・チッタ」で、「チツチェーノようちえん」を開いて、園児のみんなに遊んでもらうより多くの方に使ってもらえる方法を考える。
- たくさんの方が来るための、宣伝や呼び込みの準備をしよう。
- 自分たちの活動を、①校内に向けて動画や文書でお知らせ
②地域情報紙「ひろたりあん通信」に掲載して広める
- 地域のイベント「チツチェーノ・チッタ」で、「チツチェーノようちえん」を開いて、かるたを通して園児と交流をする。(3月)
- 近隣の幼稚園・保育園に、かるたの紹介を書いたカードを添えて届ける(3月)

前に、「チツチェーノ・チッタ」というイベントに参加したことがあるよ。小学生のイベントだけど、妹や弟もたくさんくるといい。そこで幼稚園を開いて、かるたと一緒にやったら僕たちも交流できるね。「チツチェーノ・チッタ」に参加させてもらえないかな。運営している方をお願いしてみよう。たくさん園児のみんなに来てほしいな。校内や地域の方にも宣伝しよう。

90名もお客さんが来てくれた。自分たちで作ったことにも驚いていたけれど、たまプラにこんな素敵なお客さんが来たことを知った人も多かったよ。

自己肯定感や仲間と活動する楽しさを感じることができるよう、調べた内容を集め、整理したり、分担して作ったりすることで、自他のよさに気づくことができるようにする。

【自分・友達がすき】

5 協力してくださった方に感想や感謝の気持ち届けよう (総合5時間) 3月

- この活動を通して感じたことや、協力してくださった方々へ感謝の気持ちを伝える。

自分たちのかるたで、たくさんの方が喜んでくれた。自分たちができることをして、誰かに楽しんでもらえる、自分たちも嬉しい。立派なかるたができたのは助成金のおかげだし、チツチェーノ・チッタに参加させてもらったのは運営している方々のおかげ。宣伝を手伝ってくれた「ひろたりあん通信」の方々にもお礼を伝えたいな。そして、これからもいろんなことにチャレンジしたいな。

自分たちの活動が役立ったと実感し、成功体験から自信へとつなげることができるよう、下級生や園児と関わる機会を設け、感想や反応などを直接子どもたちが実感できる機会をつくる。

【自分・友達・
学校・まちがすき】

3 本時について

(1) 本時目標

まち探検で調べた内容で作る【たまプラ】かるたと、仮に【美小】かるたを作る場合の視点を比べる活動を通して、建物や公園・お店などの物理的な視点と、行事や仕組み・人と人の関わり合いなどの視点があることに気づき、今後調べる視点について考えることができる。

(2) 本時の展開

主な学習活動 ・ 子どもの反応	・ 教師の手立て ★評価規準
<p>1. 本時の課題を確認し、解決の見通しを立てる。 「【たまプラ】と【美小】かるたで紹介したい内容を比べてみよう」 ・【美小】の方が、紹介したい内容が多い。種類も多い。 ・【たまプラ】は、公園など同じようなものが多い。</p> <p>「みんなが目指しているのは、『自分たちにしか作れない』『楽しいな』『たまプラっていいな』『行きたいな』『あっと驚く』【たまプラ】かるたを作ることだね。この内容はどうか。」 ・ネットで調べれば出てきそうな内容が多い。 ・あっと驚くとは言えない。 ・見た目のものが【たまプラ】側が多い。</p> <p>「今後どんな視点で調べると、『自分たちにしか作れない』『あっと驚く』かるたを作る情報になるのか、【美小】かるたの内容をもとに考えてみよう。」</p> <p>2. 【美小】かるたの内容にあって、【たまプラ】かるたにない内容を見つけて、まちの中にあるとすれば、どんなもの・ことになるか考え、今後調べたいことについて考える。</p> <p>・【美小】の方は、運動会・もゆフェスなどの「行事」が多い。【たまプラ】でいうと、「桜まつり」や「夏まつり」になるね。 ・【美小】の「クラブ」は、【たまプラ】の中では、お年寄りの方が公園でやっていたゲートボールとか、ケアプラザなどかな。 ・【美小】のことからまちのことを考えると、調べたいことが分かってきた。</p> <p>3. 今後の活動について考える。</p> <p>・誰に聞いたらいいか？※「行事」「仕組み」「人と人の関わり」などを視野に入れる。 ・自治会の人に聞いてみよう。 ・謎解きを企画した大学生に聞きたいな。</p>	<p>・ 教師の手立て ★評価規準</p> <p>・ 建物や公園・お店などの物理的な視点と、行事や仕組み・人と人の関わり合いなどの視点があることに気づくことができるよう、「美小のかるたを作るなら」という仮に作ることを考え、比較する。</p> <p>・ 自治会の方や謎解きを企画している大学生の団体に意識が向くよう、年度初めから学級で話題にしておく。</p> <p>★建物や公園・お店などの物理的な視点と、行事や仕組み・人と人の関わり合いなどの視点があることに気づき、今後調べる視点について考えることができる。 (思考力、判断力、表現力) 【発言・記録】</p>

※↓現段階で、かるたに書きたい内容を集約したもの

【たまプラ】かるた

<ul style="list-style-type: none"> ●美しが丘公園 <ul style="list-style-type: none"> ・ログハウス ・遊具がある(大人・子ども用) ・緑が多い ・冬はイルミネーション ●三角公園 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドと遊具が分かれている ●ABC公園(第4公園) <ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具→高齢者 ●カメ公園 <ul style="list-style-type: none"> ・カメいる ●ドーナツ公園 <ul style="list-style-type: none"> ・砂場がある ●ジャブジャブ池 <ul style="list-style-type: none"> ・今は工事中 きっと楽しい ●商店街 <ul style="list-style-type: none"> ・小さいお店がたくさん 	<ul style="list-style-type: none"> ●美しが丘公園 <ul style="list-style-type: none"> ・花びらの愛護会がある ●美しが丘第3公園 <ul style="list-style-type: none"> ・絶景が見える・夜は綺麗 ●ドーナツ公園 <ul style="list-style-type: none"> ・ジャングルジムから、美しめ見える ・ラジオ体操をやっている ●ジャブジャブ池 <ul style="list-style-type: none"> ・今は工事中 きっと楽しい ●100段階段 <ul style="list-style-type: none"> ・夕陽が絶景 ●ケアプラザ <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方と触れ合える
---	---

【美小】かるた

<ul style="list-style-type: none"> ●プールが大きい ●校庭・体育館が広い ●ウサギがいる ●花びん ●ひだまり池 ●もゆるん・もゆるんず 	<ul style="list-style-type: none"> ●スマイルコンサート ●運動会 <ul style="list-style-type: none"> ・謝効たくさん ●いろいろな集会有る ●いろいろなクラブがある ●校外学習がたくさん ●もゆるんタイム(たてわり活動) ・他の学年の人と会える ●中休みが長い ●すいめ時間で、早く帰れるラッキーな日 ●コロボックル <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな本を読み聞かせてくれる ●うさボラ ●生き物ランドがある ●55周年 ●美小ダンスがある ●楽しい先生がいる ●富士山が見える ●もゆフェス <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん遊べる
--	---

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・ 日常活動するまちの中で、新たな発見に気づくことができるようにするために、事前に教師がまちの状況や、まちを支える方々に出会うことのできる日時を把握し、まち探検に出かけました。
- ・ まちのよさに自ら発見できるよう、自分の学校のよさを例に挙げ、まちに置き換えることで、活動の視野を広げることができるようにしました。
- ・ 園児にとって、高齢者の方々にとって、どのような内容のかるたがよいのか、相手を意識して活動を進めました。内容だけでなく、かるたを通して交流する上で配慮することなど想定して活動を進めるようにしました。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・ 子どもたちが「地域のカルタをつくりたい」というやる気になっていることに変わりはありませんが、今年度の総合の学習の材を子どもたちと一緒に探す際、活動のゴールである「地域カルタをつくる」という内容を、事前に決めてから活動するのがよいのか、とことん調べた中で「地域カルタをつくる」というゴールに向かうのか、どちらも短所と長所があり、今でもどちらが正解だったのかはわかりません。

(3) 児童の反応

※ 別紙添付資料 校内重点研究 指導案 P2 を参照

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

相手が幼稚園生だから、または相手が高齢の方々だから、こうした方がよいという視点で活動をしていたことで、相手や目的を明確にした活動の重要性を実感することができました。

また、活動の中で子どもたちが主体的に考え、課題を解決していくことができるよう、しっかりと時間を確保し、失敗から学ぶ成功体験を重ねていくことができるようにしました。子どもたちの成功体験を近くで感じることができ、喜びを感じることができました。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

モデルプログラムのような10時間の単元ならば留意する必要がないかもしれませんが、年間を通した総合的な学習の時間として活動するならば、①まちのよさを調べる → ②よさを誰にどのように発信するか考える = ③かるたを〇〇(誰)に向けて作るか決める が、自然な思考過程だと思いました。